

第45期 事業報告書

平成10年4月1日から平成11年3月31日まで



ゼリア新薬

Z E R I A

ゼリア新薬工業株式会社



Z・E・R・I・A Five
コーポレート・スピリッツ / 企業理念

CONTENTS

株主の皆様へ	2	利益処分	10
営業の概況	3	TOPICS	11
経営指標の推移	5	株主の皆様へのご優待	12
貸借対照表	7	会社の概要	13
損益計算書	9	株式の状況	14

株主の皆様へ



株主の皆様には、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。第45期の事業報告書をお届けするにあたり一言ご挨拶申し上げます。

当社は、平成10年12月22日に東京証券取引所市場第二部に上場いたしました。株主の皆様のご支援に対しまして厚くお礼申し上げます。

さて、当期のわが国経済は、金融システムや景気の先行き不安により個人消費は低迷を続け、景気の後退感が一層強まってきました。

このような環境のなかで、当社は低成長時代に対応できる企業体質を目指し、営業活動強化とともに全社的な業務の改善等、経営の効率化を進め、全社を挙げて収益の確保に取り組んでまいりました。この結果、当期の業績は、売上高543億5千9百万円（前期比1.5%増）、経常利益57億8千5百万円（前期比20.1%増）、当期利益27億8百万円（前期比36.8%増）となりました。

今期の利益配当につきましては、1株につき5円の普通配当に上場記念配当として3円上乗せし、合計で1株につき8円とさせていただきます。（これにより年間配当金は、中間配当金5円を加えて、1株につき13円となりました。）

今後も当社は質を求める経営に徹し、医療用医薬品分野の研究開発におきましては、業界3位の実績のある消化器分野を優先し、また、国内外優良企業と研究開発の提携も積極的に進めてまいります。

一般用医薬品分野につきましては、顧客のニーズを、病気の予防・健康づくりを主体とした「セルフプリベンション」と、病気の治療を目的とした「セルフキユア」の2つの側面ととらえ、それらに対応した新製品の開発と営業力の強化を目指します。今後、この両事業を車の両輪としてさらなる成長を図り、東京証券取引所市場第一部指定替えの早期実現に努力してまいります。

株主の皆様におかれましては、より一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成11年6月

代表取締役社長

伊藤 幸 顕



ゼリア新薬
ZERIA

営業の概況

医療用医薬品部門

抗潰瘍剤H₂ブロッカー「アシノンカプセル」が大幅に伸長し、亜鉛含有抗潰瘍剤「プロマック顆粒15%」も順調に市場に浸透してまいりました。また、循環器官用薬におきましては、急性心不全治療薬「ハンプ注射用1000」が大幅に続伸いたしました。

しかしながら、市場競争の激化により、高血圧治療剤「ランデル錠」は苦戦し、鎮痛消炎剤「ペオン錠80」、消炎性抗潰瘍剤「マーズレン-S顆粒」は減少を余儀なくされました。

この結果、当部門の売上高は390億5千万円(前期比0.3%増)となりました。

なお、サントリー株式会社との間で、急性心筋梗塞治療剤「ワンプラス(一般名ラノテプラゼ)」の販売提携を行い、発売に向けて準備を進めております。



一般用医薬品部門

当部門におきましては、セルフプリベンションすなわち生活習慣病対策を指向した重点育成製品として、ローヤルゼリー群、コンドロイチン群、ヘパリーゼ群そしてカルシウム群を中心とした営業活動に努めてまいりました。内容とい

たしましては、「ローヤルゼリー散」、「ハイゼリー散」が大幅に伸長し、「コンドロイチンZS錠」が順調に市場を拡大し、「ヘパリーゼ」は微増いたしました。また、カルシウム剤、ミニドリンク剤、総合感冒剤は苦戦を強いられました。

この結果、当部門の売上高は130億8千8百万円(前期比4.3%増)となりました。



その他の部門

子会社への販売、輸出等により、売上高は22億2千1百万円(前期比7.0%増)となりました。

研究開発部門

当時は「ランデル錠」の狭心症と腎実質性高血圧症の効能追加及び40mg錠の剤型追加の承認を得ました。また、経皮吸収型狭心症治療薬「ミニトラン」は製造承認を、「プロマック顆粒15%」は胃炎効能追加及び75mg錠の剤型追加をそれぞれ申請中でございます。

臨床開発段階の慢性動脈閉塞症治療剤「Z-335」がフェーズを終了して、フェーズの準備中でございます。また、「ペオン錠80」は急性上気道炎、「アンサー注」は子宮頸癌に対する効能追加のため、臨床試験を引き続き進めて

おります。

消化管運動賦活剤「Z-338」は、日本での臨床開発に先がけて本年4月より英国でフェーズIを開始し、また、肺炎治療剤「Z-203」は臨床試験に向けて研究を進めております。

「Z-100(アンサー注)」は、米国における基礎研究においてHIV感染症(エイズ)の治療に対する効果が確認され、さらに研究を進めてまいります。

一般用医薬品につきましては、医療用医薬品のH₂ブロッカー「アシノン」をスイッチOTCとして製造承認を申請中でございます。

生産物流部門

物流の365日対応等顧客へのサービス向上を目指し、伊藤忠商事株式会社並びにその物流関連事業会社、株式会社スーパーレックスと提携。当社物流の全面的な業務委託を行い、本年2月24日から稼働を開始いたしました。

会社が対処すべき課題

医薬品業界におきましては、薬価制度に止まらず、医療諸制度の抜本的改革、薬事行政の国際化、インターネットによる情報提供、大型再編、提携、大衆薬市場の規制緩和等、取り巻く環境は大きく変わろうとしております。このような環境変化のなかで、当社は、医療用・一般用医薬品分野のバランスのとれた収益体質をさらに強化するとともに、新薬開発に関しましては海外での開発も進め、よりスピードアップを図ってまいります。さらに、全社一丸となって組織や業務の改善に取り組み、経営の効率化と企業体質

の向上を目指してまいります。

なお、コンピューターの西暦2000年問題につきましては、経営上の重要課題としてとらえ、全社的なプロジェクトを設置して基幹システムの対応はほぼ終了しております。その他システムにつきましても、上半期を目処に完了する予定であります。

主力製品

医療用医薬品等

種 別	製 品 名
消化器官用薬	アシノンカプセル(150、75)
	プロマック顆粒15%
	マーズレン-S顆粒
中枢神経系用薬	ベオン錠80
循環器官用薬	ランデル錠(10、20、40)
	ハンブ注射用1000
血液及び体液用薬	アンサー-20注
医 療 用 具	アピテン・シリンジアピテン

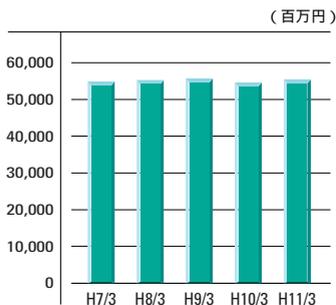
一般用医薬品

種 別	製 品 名
滋 養 強 壮 剤	ローヤルゼリー散
	ハイゼリー散
	マリオンカルシウム
	ゼリアカルシウム液
代 謝 性 用 薬	ハイゼリー-B
	強力ローヤルゼレントB
	ゼリアス(V5、V10)
	新ハイゼリーエース
	新ヘパリーゼプラス
	コンドロイチンZS錠
中枢神経系用薬	セビーゴールド(カプセル、顆粒)
栄 養 食 品	新健康習慣

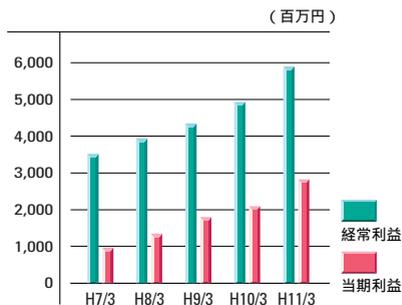


経営指標の推移

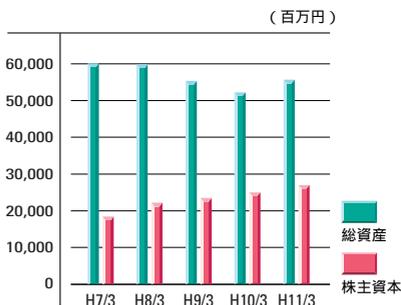
売上高



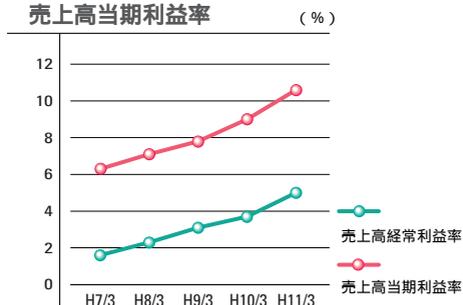
経常利益 / 当期利益



総資産 / 株主資本

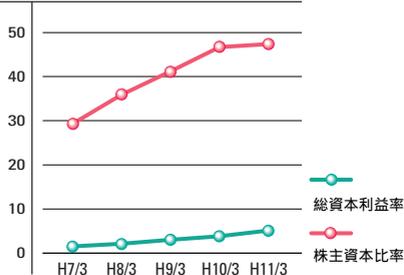


売上高経常利益率
売上高当期利益率

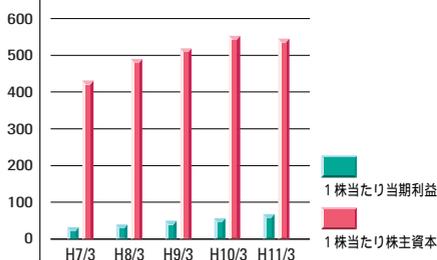


	第41期 H7/3	第42期 H8/3	第43期 H9/3	第44期 H10/3	第45期 H11/3
売上高 (百万円)	53,762	54,091	54,551	53,513	54,359
経常利益 (百万円)	3,407	3,826	4,236	4,816	5,785
当期利益 (百万円)	858	1,235	1,685	1,979	2,708
総資産 (百万円)	59,002	58,723	54,199	51,087	54,524
株主資本 (百万円)	17,303	21,078	22,344	23,853	25,852
売上高経常利益率 (%)	6.3	7.1	7.8	9.0	10.6
売上高当期利益率 (%)	1.6	2.3	3.1	3.7	5.0

総資本利益率
株主資本比率 (%)



1株当たり当期利益
1株当たり株主資本 (円)



Pick Up

株主資本利益率(ROE)



当期の株主資本比率は47.4%まで上昇しました。また、ROEは10.9%と続伸し、上場医薬品企業の中で第3位となりました。(H.11.6.2付日本経済新聞)

	第41期 H7/3	第42期 H8/3	第43期 H9/3	第44期 H10/3	第45期 H11/3
総資本利益率 (%)	1.5	2.1	3.0	3.8	5.1
株主資本比率 (%)	29.3	35.9	41.2	46.7	47.4
1株当たり当期利益 (円)	20.84	28.06	38.27	44.96	55.93
1株当たり株主資本 (円)	420.22	478.76	507.50	541.80	533.80
株主資本利益率 (%)	5.1	6.4	7.8	8.6	10.9



貸借対照表

(単位：千円)

科 目	期 別	
	当 期 (平成11年3月31日現在)	前 期 (平成10年3月31日現在)
資産の部		
流動資産	35,583,039	32,343,638
現金及び預金	3,582,814	3,320,094
受取手形	3,605,916	4,592,287
売掛金	21,719,756	18,354,006
有価証券	476,678	796,181
製品及び商品	3,014,005	2,909,436
半製品及び仕掛品	815,930	859,884
原材料及び貯蔵品	1,322,757	1,115,306
前渡金	358,257	230,118
前払費用	107,700	96,821
その他の流動資産	732,498	240,504
貸倒引当金	153,276	171,005
固定資産	18,941,107	18,744,009
有形固定資産	14,872,511	15,578,392
建物	5,594,525	6,019,420
構築物	324,240	360,339
機械装置	1,223,253	1,433,661
車両運搬具	10,632	13,588
工具器具備品	267,414	287,602
土地	7,452,445	7,463,779
無形固定資産	554,204	782,371
販売権	339,860	497,290
特許実施権	181,666	250,625
その他の無形固定資産	32,677	34,456
投資等	3,514,392	2,383,245
投資有価証券	2,183,165	1,171,664
敷金及び保証金	658,431	590,211
長期前払費用	153,091	102,910
その他の投資	524,831	523,599
貸倒引当金	5,127	5,139
資産合計	54,524,147	51,087,648

(単位：千円)

科 目	期 別	
	当 期 (平成11年3月31日現在)	前 期 (平成10年3月31日現在)
負債の部		
流動負債	24,563,698	21,960,360
支払手形	5,023,414	6,024,022
買掛金	3,975,861	2,397,938
短期借入金	8,640,000	5,400,000
1年以内返済予定の長期借入金	1,091,600	1,693,600
1年以内償還予定の社債	-	100,000
未払金	1,536,808	1,436,086
未払法人税等	1,911,838	1,779,516
未払事業税等	-	510,323
未払消費税等	289,452	424,215
未払費用	188,023	506,981
預り金	124,524	51,417
賞与引当金	1,185,497	1,144,595
返品調整引当金	218,287	215,364
売上割戻引当金	315,187	241,305
その他の流動負債	63,203	34,994
固定負債	4,108,242	5,273,357
長期借入金	1,396,900	2,488,500
退職給与引当金	2,494,203	2,410,616
役員退職慰労引当金	217,138	299,600
その他の固定負債	-	74,640
負債合計	28,671,940	27,233,717
資本の部		
資本金	6,593,398	6,593,398
法定準備金	7,045,840	7,045,840
資本準備金	5,397,490	5,397,490
利益準備金	1,648,349	1,648,349
剰余金	12,212,967	10,214,691
任意積立金	9,459,000	8,159,000
別途積立金	9,459,000	8,159,000
当期末処分利益 (うち当期利益)	2,753,967 (2,708,724)	2,055,691 (1,979,509)
資本合計	25,852,206	23,853,930
負債及び資本合計	54,524,147	51,087,648



損益計算書

(単位：千円)

科 目	期 別	
	当 期 (平成10年4月1日から 平成11年3月31日まで)	前 期 (平成9年4月1日から 平成10年3月31日まで)
経常損益の部		
営業損益の部		
営業収益		
売上高	54,359,410	53,513,917
営業費用	48,374,943	48,552,609
売上原価	25,006,050	24,715,330
返品調整引当金繰入額	2,923	-
返品調整引当金戻入額	-	28,732
販売費及び一般管理費	23,365,970	23,866,010
営業利益	5,984,467	4,961,308
営業外損益の部		
営業外収益	310,889	443,040
受取利息及び配当金	106,136	33,775
有価証券売却益	69,102	133,528
その他の営業外収益	135,650	275,736
営業外費用	509,446	588,095
支払利息	202,476	259,256
社債利息	3,300	20,609
有価証券売却損	240,417	105,948
その他の営業外費用	63,251	202,280
経常利益	5,785,910	4,816,254
特別損益の部		
特別利益	743,729	222,633
投資有価証券売却益	669,008	-
販売権付与料	-	220,000
固定資産売却益	47,041	2,633
貸倒引当金戻入額	17,741	-
その他の特別利益	9,939	-
特別損失	28,002	14,377
固定資産売却損	469	-
固定資産除却損	27,533	14,377
税引前当期利益	6,501,637	5,024,509
法人税及び住民税	-	3,045,000
法人税、住民税及び事業税	3,792,912	-
当期利益	2,708,724	1,979,509
前期繰越利益	287,240	76,181
中間配当額	241,997	-
当期末処分利益	2,753,967	2,055,691

利益処分

(単位：円)

科目	期別	当期	前期
当期末処分利益		2,753,967,595	2,055,691,376

これを次のとおり処分いたします。

利益配当金	387,381,456 (1株につき8円)	440,250,500 (1株につき10円)
普通配当5円 東証第二部上場記念配当3円 当期より中間配当制度を 導入いたしました。	241,997,655 (1株につき5円)	
	平成10年12月10日に上記中間配当を実施いたしました。	
役員賞与金 (うち監査役分)	36,000,000 (4,000,000)	28,200,000 (2,950,000)
任意積立金		
別途積立金	1,000,000,000	1,300,000,000
次期繰越利益	1,330,586,139	287,240,876

(注) 利益配当金は、自己株式7,491株を除いて計算しております。

損益計算書注記

- 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。
- 子会社との取引高

売上高	1,479,019千円
仕入高	489,715千円
営業取引以外の取引高	20,250千円
- 前期まで「販売費及び一般管理費」に計上しておりました事業税(当期815,600千円)は、当期から「法人税、住民税及び事業税」に含めて表示しております。



ゼリア新薬

ZERIA

TOPICS

おかげさまで東証二部上場を果たしました。



東京証券取引所にて授与式



当社は平成10年12月22日に、東京証券取引所市場第二部へ上場いたしました。国の経済並びに医薬品業界を取り巻く環境は厳しい状況にありますが、敢えてこのような時期に上場に挑戦してまいりました。私たちはこの上場を「第二の創業」と位置づけ、業績向上に邁進していく所存です。

新企業理念の設定、並びにブランドマークの導入。

当社がこれから目指していく未来への企業意思を宣言するものとして、新企業理念「ZERIA Five」を設定いたしました。この新企業理念は五つの価値軸からなり、五つのタイトル「Z・E・R・I・A Five コーポレート・スピリッツ/企業理念」の形をとっています。

そしてこのたびの上場を機に、新企業理念をビジュアル化した「ブランドマーク」を制定することいたしました。

新しいシンボルマークは、当社の頭文字「Z」が、大きく外に向かって広がっていくイメージをデザイン化し、さらに大きく成長していこうとしている私たちの決意を視覚化したものです。

コーポレートカラーの「ゼリアレッド」と名付けた赤は、私たちの「情熱」を表しています。その赤に対してブルーのラインは「知性」を表現しています。また同時に赤は「動脈」、青は「静脈」を意味する

ブランドマーク



ゼリア新薬

ZERIA

色であり、それは「健康づくりは幸せづくり」をスローガンとする私たちの仕事を象徴する色です。

私たちはこの新しいブランドマークに、「人々の健康づくりを通じて、情熱と知性という翼で21世紀に向けて大きく羽ばたこうとしている」私たちゼリア新薬の姿勢を込めています。

株主の皆様へのご優待

株主優待制度をはじめました。

当社は、株主の皆様の日頃のご支援・ご協力への感謝の印として、株主優待制度を新設することいたしました。

当制度では、私たちの業務に対する皆様の一層のご理解をいただきますよう、当社の製品

をお試しいただくことにいたしました。当製品のご試用によって、当社の幅広い製品構成をご理解いただきたく、よろしくお願ひ申しあげます。

実施の方法 毎年9月30日現在及び3月31日現在における所有株式数1,000株(1単位)以上の株主の皆様に対し、年間2回、当社のバランス栄養食品「新健康習慣」一箱(12,800円相当)を贈呈いたします。

実施開始時期 平成11年9月30日現在の株主名簿及び実質株主名簿に記載の株主の皆様よりお送りいたします。

バランス栄養食品「新健康習慣」

当社と森永乳業株式会社が共同開発した、生活習慣病が気になる人に食生活改善を提案する新しいコンセプトの食品です。1食は、クラッカー、スープ(6種類の味)と、お腹の調子を整えるラクトフェリン・ビフィズス菌配合サプリメントの組み合わせとなっております。

1食あたり約220kcalに調整されており、2カ月を目安に、1日3回の食事のうち1食を「新健康習慣」に置き換えると効果的です。





ゼリア新薬
ZERIA

会社の概要

(平成11年3月31日現在)

創立 1955年12月
資本金 6,593,398,500円
社員数 1,439名
主な事業内容
 1.医薬品、医薬部外品、試薬の製造、販売及び輸出入
 2.化粧品、健康食品、清涼飲料、衛生雑貨、医療用具の製造、販売及び輸出入

役員 (平成11年6月29日現在)

代表取締役社長	伊部幸顕
専務取締役	藤井信
常務取締役	林田雅博
常務取締役	佐々木耕治
取締役	大野晃
取締役	福井幸夫
取締役	岩隈建男
取締役	稲垣哲也
取締役	徳田直三郎
取締役	福山厚
取締役	岩崎和男
取締役	株橋春樹
取締役	長江晴男
常勤監査役	藤部好一郎
常勤監査役	浜野峻至
監査役	新庄勝助

事業所

本社	東京都中央区	名古屋支店	名古屋市	埼玉工場	埼玉県大里郡
札幌支店	札幌市	静岡営業所	静岡市	筑波工場	茨城県牛久市
仙台支店	仙台市	大阪支店	吹田市	東京物流センター	埼玉県新座市
東京支店	東京都新宿区	大阪第二営業所	堺市	札幌物流センター	札幌市
東京支店板橋別館	東京都板橋区	神戸営業所	神戸市	埼玉物流センター	埼玉県大里郡
立川営業所	東京都立川市	京都営業所	京都市	大阪物流センター	大阪府摂津市
横浜営業所	横浜市	金沢営業所	金沢市	出張所	
埼玉営業所	浦和市	中四国支店	広島市	青森・郡山・松山・長崎・鹿児島・ 沖縄	
千葉営業所	千葉市	岡山営業所	岡山市	連絡所	
北関東営業所	水戸市	高松営業所	高松市	宇都宮・高崎・富山・津・米子・山口・ 高知・徳島・大分・熊本	
関越営業所	新潟市	福岡支店	福岡市		
甲信営業所	松本市	中央研究所			
			埼玉県大里郡		

株式の状況 (平成11年3月31日現在)

株式の状況

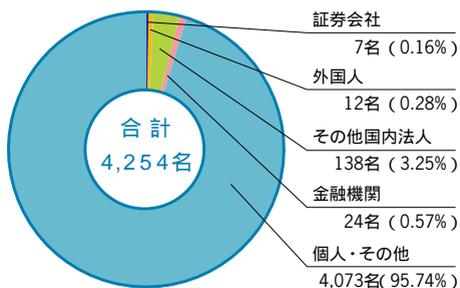
会社が発行する株式の総数 120,000,000株
 発行済株式の総数 48,430,173株
 株主数 4,254名

大株主

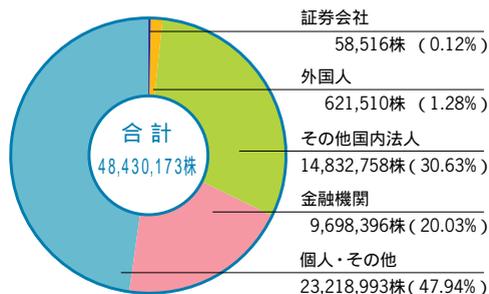
株主名	当社への出資状況		当社への出資状況	
	持株数(株)	持株比率(%)	持株数(株)	持株比率(%)
有限会社伊部	4,470,770	9.2	—	—
ロザラード株式会社	3,601,079	7.4	—	—
株式会社東海銀行	2,304,045	4.7	1,382,000	0.0
伊部 幸顕	2,273,425	4.6	—	—
ゼリア新薬工業従業員持株会	2,151,417	4.4	—	—
サントリー株式会社	1,980,000	4.0	—	—
森永乳業株式会社	1,687,741	3.4	223,596	0.0
中央信託銀行株式会社	1,173,907	2.4	136,000	0.0
株式会社さくら銀行	1,117,301	2.3	329,000	0.0
日本信託銀行株式会社	829,907	1.7	39,000	0.0

株式分布状況

株主数構成比



株式数構成比



株主メモ

決算期	3月31日
利益配当金 受領株主確定日	3月31日
中間配当金 受領株主確定日	9月30日
定時株主総会	6月下旬
公告掲載新聞	日本経済新聞
名義書換代理人	〒104-8345 東京都中央区京橋一丁目7番1号 中央信託銀行株式会社
同事務所取扱所	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 中央信託銀行株式会社証券代行部 03-3323-7111(代)
同取次所	中央信託銀行株式会社 全国各支店 日本証券代行株式会社 本支店、出張所
証券コード	4559

ゼリア新薬工業株式会社 お客様相談室

〒103-8351 東京都中央区日本橋小舟町10-11
TEL 03-3663-2351 FAX 03-3663-2352
03-3661-2080

<http://www.zeria.co.jp>